

26日 火曜

へブル



12:12 ですから、弱った手と衰えた膝を
まっすぐにしなさい。

12:13 また、あなたがたは自分の足のために、
まっすぐな道を作りなさい。足の不自由な人
が踏み外すことなく、むしろ癒やされるため
です。

12:14 すべての人との平和を追い求め、また、
聖さを追い求めなさい。聖さがなければ、だ
れも主を見ることができません。

12:15 だれも神の恵みから落ちないように、
また、苦い根が生え出て悩ませたり、これに
よって多くの人汚されたりしないように、
気をつけなさい。

12:16 また、だれも、一杯の食物と引き替え
に自分の長子の権利を売ったエサウのように、
淫らな者、俗悪な者にならないようにしな
さい。

12:17 あなたがたが知っているとおり、彼は
後になって祝福を受け継ぎたいと思ったの
ですが、退けられました。涙を流して求めても、
彼には悔い改めの機会が残っていませんで
した。

旧約の祭儀がひながたであること、永遠の大祭司
であるイエス様こそが真の贖い主であること、そし
てそれゆえにイエス様こそがとりなし手であるとい
うことが論じられてきました。

前の箇所では、そのイエス様によって試練をも愛
の訓練として忍耐できるのだと、励ましを受けまし
た。そしてここでは救われた者の生き方について書
かれています。

誰もが手や足が弱るような疲れを感じるでしょう
が、恐れから伸ばせないでいたものを思い切って伸
ばしてみましょう。のびのびとやってみてはどう

しょうか。また平和を追い求めることもしてみま
しょう。自分の利得やプライドよりも平和を優先
してみましょう。

「恵みから落ちる者がないように」、「苦い根
が芽を出」すことのないように、「俗悪な者が」
がないようにと訓戒しています。自分自身の罪を
認めるなら、それは裁きの証拠となるのではなく、
主の恵と回復の始まりなのですから、積極的に罪
を告白しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

